

## 「ヂャテルミー」ノ研究 (第二回報告)

京都朱雀病院

岡山醫學士 草野源太郎

我が京都ニ於テ始メテ「ヂャテルミー」ヲ臨牀的ニ應用セシハ大正五年五月ナリ。

爾後今日迄數多ノ實地應用醫家ヲ出セシモ大約譏謗贊評常ナラズ加フルニ該器ノ本邦製品幾種類ガ製作サレテ粗製濫造ノモノナシトセズサレド又治療室ノ裝飾トシテ將タ又適應症使用法等ニ深く考慮セズシテ應用サレシ例少カラズ罪果シテ誰ニカアル。

コ、ニ於テ淺學經驗ノ寡キヲ願ミズ敢テ自己ノ有セル二百八十餘例ノ實驗報告ヲ爲シ大方ノ教正ヲ乞ハントス。余ハ今實驗例ヲ報告スルニ先チ「ヂャテルミー」ノ智識一般ニ熟知セラレタルノ今日徒ラニ蛇足ヲ添ヘテ其適應症及ビ使用法等ニ就テ簡單ニ説明ヲ試ミントス。

「ヂャテルミー」機械使用ニ先チ緊要ナルハ適應症ノ選擇ナリ「ヂャテルミー」ノ原理ニ就テハ既ニ第一回ニ報告セル如ク

第一ニ無刺戟ノ透溫作用ガ深部ニ迄人體組織内ニ起リソコニ實性充血及ビ鎮痛作用ヲ起ス事

第二ニ高周波電流ノ特殊ナル作用ニヨリテ細胞ハ「マッサーチ」ヲ受クル事

等ニシテ以上ノ二ツヲ應用シテヨキ疾病ハ即チ適應症ナリ。

然ラバ適應症トハ如何。

内科的應用ニ於テハ

草野「ヂャテルミー」ノ研究

一、神經系統疾患 末稍神經ノ疾患（神經痛、神經炎偏頭痛）神經中樞ノ疾患（主トシテ脊髓癆）神經官能症（神經衰弱症、「ヒステリー」症等）等就中疼痛ヲ主症候トセルモノ

二、關節及ビ筋肉ノ疾患 淋菌性關節炎、外傷性關節炎、慢性「ロイマチス」性關節炎、肩僻痛風

三、脚氣 殊ニ其多發性神經炎性症狀及ビ筋痛

四、血液循環系統疾患 「ロイマチス」性心内膜炎、淋毒性心内膜炎、心筋炎、「ロイマチス」性心囊炎、狹心症心臟性喘息、動脈硬化症

五、呼吸器系疾患 慢性氣管枝炎、氣管枝喘息、初期肺結核、肋膜炎（濕性乾性共）、百日咳

六、消化器系疾患 神經性胃痛、消化不良、慢性胃腸加答兒、慢性腹膜炎

七、泌尿器系疾患 亞急性及慢性腎臟炎、慢性膀胱加答兒、急性慢性尿道淋副辜丸炎、橫痃、女子生殖器疾患、

#### 夜尿症

等ニシテ其他皮膚科の疾患、眼科の疾患、美容法、外科的應用法等其應用モ亦廣シ但シ余ハ内科醫トシテ内科的疾患ニノミ主トシテ應用セシヲ以テ他ノ疾患ニハ應用セズ。

之ヲ要スルニ「ヂァテルミー」ノ人體組織ニ對スル影響ヲ考慮シ然ル後チ當該疾患ニ應用スベク然ラザル應用ニ對スル「ヂァテルミー」ノ批評ハ「ヂァテルミー」ノ罪ニアラズシテ使用者ノ罪ナリ。

次ニ用法ニ就テ一言センニ

先ヅ「ヂァテルミー」機械ノ選擇必要ナリコレニハ

一、高周波電流強大ニシテ且自由ニ容易ニ調節シ得ル裝置ヲ有スルモノ

二、火花間隙ノ冷却裝置完全ニシテ火花數多ク長時間使用ニ堪ヘ得ルモノ

三、電流ノ餘リ強キヲ要セザルモノ

四、電壓低クシテ電流ノ強ク出ルモノ

五、危険電流及ビ「シヨック」等ノ通過スル憂ヒナキモノ

六、機械ノ長日月使用ニ堪ヘ容易ニ破損セザルモノ

等ノ必要條件ヲ具備セザルベカラズ而シテ患者ノ適應症ヲ撰ビ應用スルハ勿論ナレドモ亦適應セル場所ヲ考慮スル必要アリ即チ解剖的ノ位置(主トシテ神經系統疾患ニ於テ)ヲ知り高周波電流ノ流ル、方向ヲ知り及ビ其性質ヲ知りテ使用スベシ。徒ラニ隨所ニ電導子ヲ使用スルトキハ假令其疾患ガ「ヂャテルミー」ニ適應セルモノト雖モ何等效果ナキハ勿論ナリ。

又使用スルニ先チ充分機械ノ點檢ヲ行フベシコレニハ火花間隙ノ所最モ大切ニシテコレ本機ノ生命トモ稱セラルルモノナレバ日々掃除シ清潔ニナラシメ必ズ一方一局所ニノミ偏シテ火花ノ飛移スルガ如キ事ヲ避ケ常ニ火花ノ數多ク火花ニ變化ナキ様ニシテ使用スベシ。

電導子ニハ食鹽水ニ浸シタル「ガーゼ」ヲ七八重ニ重不局所ニ密着セシムベシ必ズ間隙ヲ作ルベカラズ。

患者ニハ「ヂャテルミー」ノ性質ヲヨク話シ其發スル音響モ豫告シ置クベシ而シテ徐々ニ透溫スベシ必ズ始メヨリ強ク電流ヲカクベカラズ時間モ亦僅カナルベシコレ人體ニ特有ナル特質ヲ避ケル爲メナリ又「ヂャテルミー」ノ溫熱モ他ノ場合ト同ジク稍々弱ク時間ヲ長クシテ治療スベシコレ皮膚ノ溫熱ニ對スル抗抵ヲ弱メテ充分深部ニ迄透溫セシメ得ル爲メナリ。

故ニ斯ル機械ヲ應用スルニ當リ相當ノ智識ト練熟セル使用法トヲ要スルハ勿論ナレドモ從來行ハレシ熱氣療法溫泉療法等ニヨリテ治療ノ效ヲ收メ得タル疾患ニ對シテ應用スルヨリハ此等ノ治療法ノ及バザル疾患ニ對シテ充分ナル深部透溫ヲ行ヒ以テ治療ノ目的ヲ達セントスルコソ我「ヂャテルミー」ノ本領ナラン。

余ノ「ヂャテルミー」ヲ應用セシハ専ラ內科的疾患ニシテ其實驗例ハ次ノ如シ。

神経系統ノ疾患

No.	姓 名	年 齡	病 名	平均 「アンペリア」 均	平均 時間	回 數	轉 歸
1	町○貴○郎	六六	坐骨神經痛	一・七	二五分	一三	疼痛輕快セリ
2	今○○し○	六〇	同	二・〇	二五	一一	疼痛輕快セリ
3	上○幸○工○	七二	同	一・五	二〇	三	一時著シク輕快セリ其後來院セズ
4	三○長○郎	二八	同	一・五	二五	一三	疼痛輕快セリ
5	川○己○助	四七	同	一・七	二五	八	一時輕快セリ
6	橋○○こ○	六〇	同	二・〇	二五	三二	疼痛著シク輕快
7	羽○三○郎	一六	同	一・五	二五	一五	一時輕快セリ
8	十○重○	六〇	同	二・五	三〇	二八四	全快セリ
9	多○一○郎	二九	同	一・五	二五	六	一時輕快セリ
1	王○た○	五〇	兩下肢神經痛	一・〇	二〇	五	殆ド治癒セリ
2	淺○し○	二〇	同	二・〇	二五	一〇七	殆ド治癒セリ
3	津○み○	二八	同	一・〇	一五	三	不明
4	福○喜○	二五	同	一・〇	一五	二	不明
5	工○ぎ○	六一	同	一・〇	一五	六	變化ナシ
6	安○善○郎	七〇	同	一・〇	一五	五	輕快セリト云フ
7	福○元○郎	四〇	同	一・〇	一五	四	一時輕快セリ
8	加○哲○助	五四	同	一・五	一五	三	變化ナシ
9	小○新○	四八	同	一・五	二〇	四	輕快セリ
10	均○た○	五〇	同	一・〇	一五	二	不明
11	三○ツ○	三五	同	一・〇	二〇	四	著シク輕快セリ

草野「ヂアテルミ」ノ研究

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
藤○寛○	奥○市○門	西○源○助	小○熊○	小○ト○	奥○長○郎	河○き○	大○し○	山○敬○郎	小○信○	福○き○	澤○辨○郎	柴○七○	小○木○七	沼○喜○郎	三○さ○	進○ま○	北○ふ○	赤○も○	澁○い○	俣○辨○郎	田○な○
三〇	三七	二三	二三	三三	四五	四二	六一	五一	二八	五〇	三二	二七	二〇	七二	六五	四〇	四五	五一	五三	四二	六〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	腰
																					痛
一・五	一〇	一〇	一・五	一〇	一〇	一〇	一・五	一〇	一〇	一・五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一・五	一・五	一・五	一〇
二五	一〇	一〇	二〇	二〇	一〇	一五	一五	一〇	一五	一五	一〇	一五	一五	一五	一五	一五	一五	二〇	一五	二〇	一五
七	三	二	五	四	二	三	五	二	三	一一	一	二	三	五	三	五	七	一四	七	八	二
輕快セリ	不明	不明	一時輕快セリ	輕快セリ	變化ナシ	一時輕快セリ	一時輕快セリ	變化ナシ	變化ナシ	疼痛去リ仕事シ得	變化ナシ	治癒セリ	治癒セリ	一時輕快	不明	一時輕快	一時輕快	一時疼痛去リ仕事シ得	一時輕快	一時輕快	不明

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
筒 ○又 ○耶	澤 ○乾 ○	山 ○ や ○	大 ○半 ○衛	佐 ○た ○	木 ○德 ○耶	芦 ○慶 ○	木 ○は ○	柴 ○源 ○	吉 ○重 ○耶	前 ○き ○子	隅 ○り ○	加 ○昌 ○	岡 ○信 ○耶	荒 ○菊 ○耶	奥 ○ 蒸	小 ○木 ○兵 ○	後 ○竹 ○	勝 ○五 ○	奥 ○嘉 ○門	山 ○清 ○	市 ○ひ ○	
四一	四四	一七	六三	四五	四二	五二	四二	四五	三五	三一	六二	六二	三〇	五八	三八	七一	四〇	四七	六九	五四	二三	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	上 膊 神 經 痛
一・五	一・五	一・〇	一・〇	一・三	二・五	一・〇	一・五	一・五	一・〇	一・五	一・七	二・〇	一・七	一・七	一・五	一・五	一・七	一・〇	一・五	一・〇	一・〇	
九	一五	二五	一〇	一五	一五	一五	一五	一五	一〇	一五	一五	二〇	一五	二〇	一五	二〇	一五	一五	一五	一五	一〇	
一八	一二	二	三	九	一三	三	六	一一	二	五	五	三六	七	一七	八	四四	七	三	四	六	二	
一時輕快セリ	一時輕快セリ	變化ナシ	變化ナシ	一時輕快セリ	治癒セリ	變化ナシ	輕快セリ	一時輕快セリ	變化ナシ	一時輕快セリ	著シク效アリ	一時輕快セリ	一時輕快セリ	一時輕快セリ	一時輕快セリ	殆ト全治セリ	一時輕快シ仕事シ得	一時輕快セリ	變化ナシ	輕快セリ	反ツテ疼痛ヲ増ス	

關節及ヒ筋肉ノ疾患

Case No.	姓 名	年 齡	病 名	平 均 「アンペリア」均	平 均 時間	回 數	轉 歸
23	小○サ○	三五	同	一・五	一五	九	輕快セリ
I	松○常○郎	五二	「アルコール」中毒	一・〇	一五	三	不明
I	安○忠○	三七	外傷性神經痛、 拇指球ノ筋肉ノ神 經痛、	一・五	二〇	四	治癒セリ
I	今○路○三○	二五	肋間神經痛	一・〇	七	一	治癒セリ
I	若○い○	六八	同	一・五	一〇	三	治癒セリ
2	堀○の○	三三	同	一・五	一〇	六	治癒セリ
3	北○與○	二三	同	一・五	一五	三	治癒セリ
I	岡○小○郎	五〇	脊 髓 癆	一・七	三〇	八	治癒セリ
2	遠○新○	三九	同	二・〇	二五	三五	兩下肢神經痛ハ餘程輕快セリ 下肢ノ疼痛ハ輕快セルモ時々再發ス
I	立○秀○郎	五三	神經衰弱症	一・五	二〇	四	一時輕快セリ
2	北○常○郎	二六	同	一・七	二〇	六	氣分非常ニ爽快トナレリ
3	牧○伊○郎	二四	同	一・七	二〇	三	氣分爽快トナリ安眠シ得
4	渡○き○	三三	同	一・五	二〇	三	安眠シ得
5	北○せ○	二四	同	一・五	二〇	六	安眠シ得
I	小○さ○	六三	「ヒステリー」症	一・〇	二〇	三	「ダルソンパール」併用一時氣分爽快トナレリ
2	安○さ○	三二	同	一・三	二〇	七	「ダルソンパール」併用一時氣分爽快トナレリ
3	滋○た○	四八	同	一・三	四	四	「ダルソンパール」併用一時氣分爽快トナレリ
I	細○伊○郎	三五	「ロイマチス」膝 關節炎	二・五	一五	一	疼痛治癒セリ
2	佐○木○よ	二一	同	二・〇	一五	三	疼痛止ミタリ
3	山○て○	三一	同	二・五	一五	二	疼痛輕快セリ

草野「ゲアテルミー」ノ研究

4	十〇チ〇	二六	同	二〇	二〇	一八	疼痛止ミタリ
5	大〇丈〇郎	三九	同	一七	一五	三	疼痛殆ト止ム
6	沼〇喜〇郎	七二	同	一七	二〇	五	疼痛腫脹著シク輕快セリ
7	久〇壽〇	二七	同	二〇	一五	一	不明
8	安〇さ〇	二七	同	二五	二〇	一一	疼痛止ミタルモ時々再發セリ
9	奥〇平〇郎	二三	同	二七	一五	三	疼痛止ミタリ
1	淺〇て〇	六三	慢性「ロイマチス」 性關節炎	一五	二五	一六	疼痛腫脹輕快セシモ一〇日後著變ナシ
2	中〇ま〇	五六	同	一〇	三〇	五〇	一時疼痛腫脹輕快セシモ著變ナシ
3	山〇源〇	七九	同	一五	二五	六	一時疼痛輕快セリ
4	中〇ユ〇	五五	同	一五	三〇	一五	一時疼痛輕快セシモ著變ナシ
1	石〇し〇	一八	亞急性「ロイマチス」 性關節炎	一五	二五	一〇	一時疼痛止ミタリ(上膊)
2	杉〇武〇	二一	同	一八	三〇	一六	疼痛全ク去ル(腰部)
3	鳥〇重〇	三四	同	二〇	二五	二〇	腰部ノ疼痛殆ト去レリ
4	伊〇い〇	二五	同	一八	二〇	三	上膊及ビ肩胛關節ノ疼痛殆ト去レリ
5	柏〇サ〇	二四	同	一八	二〇	五	腰部ノ疼痛ニ著變ナシ
6	大〇チ〇	四三	同	一八	二五	三	肩胛關節ノ疼痛著シク輕快ス
1	山〇し〇	七五	慢性筋肉「ロイマチス」	一〇	二〇	四	一時疼痛輕快セリ
2	大〇よ〇	四三	同	一五	二〇	三	疼痛殆ト去ル
3	上〇定〇	六六	同	一二	二五	二〇	全ク疼痛去ル
1	三〇宗〇	一〇	同	一八	二〇	二七	全ク效見エズ
1	飯〇た〇	三二	結核性膝關節炎	二〇	三〇	二三	全ク效見エズ
1	横〇し〇	四六	結核性足關節炎	一七	一五	一八	治癒セリ



草野「サアテルミー」ノ研究

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2
神 ○ト ○コ	池 ○勝 ○郎	張 ○善 ○○	堀 ○つ ○○	井 ○ヨ ○○	田 ○ト ○ノ	鈴 ○し ○○	藤 ○よ ○○	佐 ○妙 ○○	平 ○末 ○郎	熊 ○さ ○○	佐 ○木 ○み	井 ○勝 ○郎	高 ○久 ○○	井 ○ベ ○○	飯 ○政 ○助	水 ○清 ○○	大 ○仁 ○衛	岩 ○當 ○○	須 ○勘 ○○	小 ○た ○○	竹 ○乙 ○代
二〇	二三	二八	二八	二二	二七	三七	三〇	三二	二四	三〇	七〇	六〇	二七	四七	四五	四八	五〇	一九	四八	二三	四六
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一・五	一・五	一・五	一・〇	一・二	一・〇	一・二	一・五	一・〇	一・二	一・二	一・〇	一・五	一・五	一・二	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	一・二	二・〇
一〇	一〇	二〇	一〇	一五	一〇	一五	一五	一〇	一〇	一〇	一五	二〇	一五	一五	二五	一五	二〇	一五	一五	二〇	一五
四	一	五	五	三	一	二	一	一	三	三	一	一四	二	三	三八	三	五	一	二	八	一〇
著變ナシ	治癒セリ	治癒セリ	一時輕快セルモ著變ナシ	治癒セリ	疼痛全ク去ル	治癒セリ	一時疼痛止ミタルモ度々反覆ス	治癒セリ	一時輕快セリ	一時輕快セリ	不明	著變ナシ	輕快セリ	疼痛止ミタリ	著シク輕快スルモ交々反覆ス	一時疼痛止ム	著變ナシ	治癒セリ	疼痛止ミタリ	疼痛止ミタリ	治癒セリ

脚氣(多發性神經炎性症狀及ヒ筋痛)

Case No.	姓 名	年 齡	脚 病	名	平均 「アンペール」均	平均 時間	回 數	轉
24	中○捨○郎	五六	同		一・五	一五	六	一時輕快セシモ著變ナシ
25	關○米○	四六	同		一・五	一五	一〇	一時疼痛止ミタルモ度々反覆ス
1	島○キ○エ	一六	脚	氣	三・〇	二〇	七	著シク輕快セリ
2	小○榮○郎	五三	同		二・〇	二五	二	筋痛止ミタルモ其後來院セズ
3	山○タ○	三〇	同		三・〇	二〇	九	著シク輕快セリ
4	藤○五○郎	三一	同		二・五	三〇	一四	日々偉效アリタリ
5	西○ツ○オ	一七	同		二・〇	一五	一	不明
6	吉○重○郎	三二	同		二・〇	二〇	三	腓腸筋痛去レリ
7	小○チ○ノ	二〇	同		三・〇	一〇	五	腓腸筋痛去レリ
8	西○音○郎	四二	同		二・五	二五	一	著シク輕快セリ
9	吉○喜○次○	二六	同		二・〇	二〇	四	疼痛去リ仕事シ得
10	中○宇○助	一九	同		一・五	一〇	一	不明
11	八○久○	二三	同		二・〇	一五	五	腓腸筋痛止ミタルモ以後來院セズ
12	古○カ○	一七	同		二・七	三〇	二九	治癒セリ
13	藤○壯○	二〇	同		二・七	三〇	四九	全治セリ
14	櫻○  薰	二三	同		三・〇	二五	一二	五回ニテ普通歩行トナリ十二回ニテ治ス
15	坂○サ○エ	一七	同		二・〇	二〇	五	腓腸筋痛去レリ
16	關○米○	四六	同		三・〇	二〇	一	著シク輕快セリ
17	榎○エ○コ	一六	同		一・〇	一五	二	腓腸筋痛止ム
18	三○シ○	一九	同		二・〇	一五	七	腓腸筋痛全ク去レリ

草野「サアテルミー」ノ研究

40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
田○サ○	河○關○助	長○川○三○	宮○ミ○エ	加○爲○	齋○政○	石○正○良	清○倉○	垣○久○藏	吉○喜○藏	田○國○郎	筒○又○郎	小○繁○郎	淺○ミ○	木○勇○郎	守○増○	中○キ○エ	並○字○助	谷○要○郎	高○ツ○	神○ツ○	大○信○
二五	三三	二五	一七	一九	二四	一九	四五	五一	二五	一九	四一	三三	二七	四七	二七	一六	三七	一八	一九	二〇	二六
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一・五	二・〇	二・〇	二・〇	二・五	二・〇	二・〇	二・五	一・〇	二・五	三・〇	三・〇	三・五	三・五	一・五	三・〇	二・〇	二・五	一・五	三・〇	二・五	二・五
一五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	一五	二〇	二〇	二〇	二〇	二五	二〇	二〇	二〇	二五	一五	二〇	二〇	二五	一五	二五
四	三	三	四	六	二	五	五	三	九	二	一八	三	七	三	二七	四	八	四	四七	一三	一五
膀胱筋痛止△	筋痛止△	筋痛止△	筋痛止△	膀胱筋痛止△	不明	著效アリタリ	著シク輕快セリ	一時輕快セリ	膀胱筋痛ハ二回ニテ止ミ後殆ド治癒セリ	「インフルエンザ」後ノ症狀ナレド不明ナリ	殆ト治癒セリ	著シク輕快セリ	殆ド全治セリ	膀胱筋痛止△	著シク輕快セリ	膀胱筋痛全ク去レリ	著シク輕快セリ	肺結核ニ合併セルモノニテ發熱ノタメ中止ス	全治セリ	三回ニテ疼痛去リ十回ニテ著シク輕快セリ	日々回復セリ

呼吸器系疾患

姓 名	年 齡	病 名	平均 「アンペリア」 均	平均 時間	回 數	轉 歸
和○與○衛	五〇	慢性氣管枝加答兒	二〇	一五	五	輕快ノ感アリ
8 瀧○八○	一六	同	一〇	七	二	腫脹去ラズ應用中ノミ疼痛止ム
7 安○キ○エ	一一	同	一〇	五	四	應用中疼痛去リ後輕快ス
6 田○與○助	二六	同	一〇	七	二	不明
5 濱○タ○	一八	同	一〇	七	三	應用中疼痛止ミ後著シク輕快セリ
4 木○サ○エ	一七	同	一〇	七	一	應用中疼痛止ム
3 福○シ○	一九	同	一〇	七	三	腫脹多少去リタルモ著變ナシ
2 山○カ○エ	一九	同	一〇	七	一	應用中疼痛止ム
1 秋○イ○	一七	足痛(跟骨痛)	一〇	一〇	二	腫脹去ラズ疼痛一時輕快セリ
51 田○サ○	二五	同	二〇	二〇	五	再發センモノナルガ腓腸筋痛止ム
50 開○嘉○	二六	同	二五	二〇	六	再發セシモノナルガ著シク輕快セリ
49 丸○つ○	一八	同	三〇	二〇	七	輕快セリ
48 田○キ○	五七	同	二五	二五	三七	殆ド治癒セリ
47 中○た○	五〇	同	二五	二〇	一二	腓腸筋痛止ム
46 別○キ○	六九	同	一五	二〇	四	一時輕快セリ
45 北○ミ○	一九	同	一五	一五	三	腓腸筋痛止ム
44 四○政○郎	三三	同	二〇	二五	七	著シク輕快セリ
43 森○七○	六一	同	二五	二五	一二	著シク輕快セリ
42 十○正○	二五	同	一五	二〇	二	不明
41 開○嘉○	二六	同	二〇	二〇	二	不明

「草野」「ザアテルミー」ノ研究

6	5	4	3	2	1	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	3	2	
白○福○耶	眞○瀧○	藤○チ○	順○源○	岩○し○	北○あ○江	順○源○	山○芳○	藤○よ○	富○ひ○	岡○五○	佐○間○次	前○信○耶	杉○正○	十○ち○	十○春○	十○健○	笠○な○菊	澤○き○	中○ち○子	西○み○	中○重○	
一九	四一	六八	三四	二〇	四二	八	四	七	七	六	四	四	五	八	六	八	七	五	二	三八	四〇	
同	同	同	同	同	氣管枝喘息	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	百日咳	同	同	
三〇	二五	二〇	二〇	二三	二五	一〇	一〇	二〇	一二	一二	一〇	一〇	一〇	一二	一五	一〇	一二	一二	一〇	三〇	二五	
二五	二〇	二五	二〇	二〇	一五	一五	一〇	一五	一五	一五	一〇	一〇	一〇	一二	一五	一〇	一〇	一〇	五	一五	一五	
九	三	三	五	四	四	五	六	一八	七	二〇	五	七	一四	一三	三五	五	八	七	五	三	八	
著シク輕快セリ	著變ナシ	著變ナシ	著變ナシ	偉效アリ發作止△	偉效アリ發作止△	著變ナシ	著シク輕快セリ	著シク輕快セリ	著シク輕快セリ	殆ト咳嗽止△	著變ナシ	著シク咳嗽減セリ	殆ト咳嗽止△	殆ト咳嗽止△	殆ト治癒セリ	著シク咳嗽減セリ	著シク輕快セリ	著シク咳嗽減セリ	著シク咳嗽減セリ	輕快ノ感アリ	輕快ノ感アリ	喀出容易トナリ輕快ノ感アリ

消化器系疾患

1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
勝○惣○衛	吉○豐○郎	水○香○○	桑○禮○○	山○敬○郎	梅○○せ○	大○寛○○	堀○の○○	林○○づ○	青○み○○	柴○源○○	西○○ミ○	西○佐○○						
六	四	四	四	二	四	三	三	三	二	四	二	二	二	二	二	二	二	
肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	肋膜炎	
一・五	一・五	一・二	一・二	二・〇	一・二	一・〇	一・五	二・〇	一・七	一・五	一・二	一・二	一・二	一・五	一・二	一・二	一・二	
二〇	二五	二〇	一五	二五	二〇	二〇	二〇	二五	二〇	二〇	一五	一五	一五	二〇	二五	一五	一五	
五	一〇	三	三	二	二	四	四	一	六	一	三	三	三	六	一	三	四	
左濕性肋膜炎著シク吸收サレ痛止△	右乾性肋膜炎疼痛去リタリ	右乾性肋膜炎疼痛輕減セリ	右乾性肋膜炎疼痛輕減セリ	右濕性肋膜炎著變ナシ	左乾性肋膜炎疼痛去ル	右乾性肋膜炎疼痛輕快セリ	右乾性肋膜炎疼痛全ク去ル	右濕性肋膜炎吸收サレ痛止△	右乾性肋膜炎疼痛輕快ス	左乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	右乾性肋膜炎著變ナシ	
轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	轉	
歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	歸	

姓名 年齢 病名 平均アンペア均 平均時間 回数 轉歸

柴○長○郎 三八 腹 痛 二・〇 二〇 三 疼痛止△

細○伊○郎 一四 同 二・五 二五 二二 腹痛止ミタルモ時々再發セリ

山○○き○ 二四 同 三・〇 二〇 四 疼痛止△

藤○彌○郎 三三 同 三・〇 二〇 四 疼痛止△

西○成○○ 四九 同 二・五 二〇 九 疼痛止ミタルモ時々再發セリ

野○○う○ 二三 胃腸加答兒 一・五 二五 二四 胃擴張ニハ變化ナキモ食慾増進ス

中○喜○郎 二七 同 一・五 二〇 三 腹部膨滿嚴重ノ感著シク減ズ

泌尿生殖器ノ疾患

No.	姓 名	年齢	病 名	平均時間	回数	轉 歸
3	畑○安○郎	二六	同	一・五	一	下腹部膨滿ノ感ニ輕快ノ感ヲ與フ
4	兒○あ○子	二八	同	二・〇	三二	腹部ノ不快感者シク去ル
5	塚○か○〇	二二	同	一・五	三	下腹部ノ膨滿ノ感減ズト云フ
6	中○榮○〇	一九	同	二・五	一三	腹部壓重ノ感去リ食思進△
7	青○八○〇	三六	同	一・二	六	下腹部膨滿ノ感去リタリト云フ
8	富○專○助	二六	同	一・五	一	蟲様突起炎後ノ疼痛輕快セリト
9	加○武○〇	三五	同	一・七	五	腹部膨滿ノ感輕快セリ
10	津○き○〇	一九	同	一・五	三	腹部ノ不快感輕快セリト
11	井○い○〇	四二	同	一・七	二一	腹部ノ壓重不快感治シタリ
1	和○忠○郎	二三	腹膜炎後ノ腹部硬結	一・七	七	硬結殆ト去リタリ
2	名○キ○〇	二五	同	一・五	二	腹部軟弱トナリタリ硬結ハ不明
3	西○良○〇	二九	同	一・五	三	腹部軟弱トナリタリドモ其後來院セズ
4	山○正○郎	一八	同	二・三	一一	硬結殆ト去リタリ
5	小○み○〇	四一	同	一・五	三	硬結著シク變ナシ
6	岩○つ○〇	三六	同	一・五	三	腹部軟弱トナリタリ
7	安○あ○〇	一四	同	一・五	五	慢性結核性ノモノニテ膨滿輕快セリ
8	安○み○〇	一九	同	二・〇	五五	硬結全ク去リ腹部膨滿モ去ル
9	上○あ○〇	一八	同	二・五	七八	硬結全ク去リ腹部膨滿モ去ル
I	愛○柳○〇	一七	陰萎症	一・七	二一	多少勃起力恢復ス
I	吉○ま○〇	三五	「ラツパ」管炎後ノ腹部疼痛	一・五	二二	著變ヲ見ズ

「ザアテルミー」ノ研究

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
大○彦○郎	佐○○機○	高○○信	林○○吉	佐○沼○之○	渡○福○	西○成○	吉○敬○郎	市○友○	菱○○輝	中○唯○	山○才○郎	上○理○	藤○○殖	松○武○	西○谷○	加○三○	駒○○	中○ナ○へ	山○武○助	井○利○	野○む○		
二二	二三	三一	三二	二四	二五	四九	二八	三七	三八	二三	三〇	三五	二八	四一	三五	三二	二三	一九	一四	一三	二三		
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	尿道 淋	同	淋性 副睾丸炎	同	膀胱 加答兒	同	夜 尿 症	同	同		
一・五	二・二	二・〇	二・〇	一・八	二・五	一・七	一・八	二・〇	二・五	二・〇	一・七	二・〇	二・三	二・〇	一・五	一・二	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	二・五	二・四
一五	一五	一五	一〇	一〇	一七	一五	二〇	二〇	一五	一五	一五	一五	一五	二〇	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	二五
八	八	七	八	一六	二〇	九	一三	一六	三	五	六	四	五	三七	三	六	八	四	一三	二四			
治癒シ其後再發ヲ聞カズ	殆ド全ク治癒セリ	膿全ク出ズ混濁モナシ目下治療中	殆ト治癒セリ	全治セリ	全快セリ	尿ノ混濁排尿痛去ルモ間モナク再發ス	殆ト治癒セリ	尿ノ混濁排尿痛去リ再發ヲ聞カズ	尿混濁去リタルモ再發セリ	尿混濁排尿痛去去リタルモ再發ス	尿混濁去リタルモ再發セリ	尿ノ混濁去リタルモ間モナク再發セリ	排尿痛去リタルモ再發セリ	尿混濁排尿痛去去リタルモ再發ス	尿ノ混濁去リタルモ間モナク再發セリ	尿ノ混濁去リタルモ再發セリ	疼痛多少去リタリ	疼痛多少去リタリ	尿ノ混濁去リ疼痛去ル	使用後一回モ出ズ目下使用中	三回ニテ止ミ後チ二三回反覆シ後チ止ム	著シク輕快セリ	



其他ノ疾患

姓 名	年 齡	病 名	平 「アンペリア」 均	平 均 時 間	回 數	轉 歸
北 ○ 國 ○	一九	同	〇・九	一三	一〇	治癒シ其後再發ヲ聞カズ
I 安 ○ ぶ ○	二一	甲 狀 腺 腫	一・二	一五	一六	著變ナシ
I 井 ○ 市 ○ 郎	六二	左 半 身 不 隨 症	一・〇	二〇	九	左 上 膊 多 少 肉 附 ク ナ 見 ル
2 安 ○ 市 ○ 衛	四五	同	一・〇	一五	五	著變ナシ
3 柴 ○ き ○	五〇	同(右)	一・〇	二〇	三四	右 上 膊 多 少 肉 附 ク ナ 見 ル
I 稻 ○ ミ ○	三〇	衰 弱 後 步 行 不 能	二・〇	二五	二六	普 通 ノ 步 行 ナ 取 リ 退 院 セ リ
2 北 ○ 源 ○	四五	衰 弱 後 步 行 困 難	二・〇	二五	五	著 シ ク カ ツ キ タ リ

神經系統ノ疾患

I 坐 骨 神 經 痛	九 例	(治癒一例、輕快八例)
2 兩 下 肢 神 經 痛	一 例	(治癒二例、輕快四例、無效二例、不明三例)
3 腰 痛	二 二 例	(治癒二例、輕快十二例、無效四例、不明四例)
4 上 膊 神 經 痛	二 三 例	(治癒二例、輕快十五例、無效五例、增惡一例)
5 「アルコホール」中毒ニヨル神經痛	一 例	(不明一例)
6 外 傷 性 神 經 痛	一 例	(治癒一例)
7 拇 指 球 ノ 筋 肉 ノ 神 經 痛	一 例	(治癒一例)
8 肋 間 神 經 痛	三 例	(治癒三例)
9 脊 髓 癆	二 例	(輕快二例)
10 神 經 衰 弱 症	五 例	(輕快二例、安眠三例)
11 「ヒステリ」症	三 例	(一時氣分爽快トナル三例)

草野「ザアテルミー」ノ研究

### 關節及ビ筋肉ノ疾患

- 1 「ロイマチス」性膝關節炎 九例 (輕快八例、不明一例)
  - 2 慢性「ロイマチス」性關節炎 四例 (一時輕快四例)
  - 3 亞急性「ロイマチス」性關節炎 六例 (輕快五例、無效一例)
  - 4 慢性筋肉「ロイマチス」 三例 (治療一例、輕快二例)
  - 5 結核性膝關節炎 一例 (無效一例)
  - 6 結核性足關節炎 一例 (無效一例)
  - 7 肩 二五例 (治療八例、輕快十三例、無效三例、不明一例)
- 脚氣 五一例 (治療七例、輕快十七例、止痛二十例、不明五例)
- 附足痛 八例 (輕快六例、不明二例)

### 呼吸器系疾患

- 1 慢性氣管枝加答兒 三例 (輕快三例)
- 2 百日咳 一四例 (治療一例、輕快十一例、無效二例)
- 3 氣管枝喘息 六例 (治療二例、輕快一例、無效三例)
- 4 肋膜炎 一三例 (輕快八例、無效五例)

### 消化器系疾患

- 1 腹痛 五例 (治療三例、輕快二例)
- 2 胃腸加答兒 一一例 (輕快十一例)
- 3 腹膜炎後ノ腹硬結 九例 (治療四例、輕快四例、無效一例)

### 泌尿生殖器ノ疾患

- 1 陰萎症 一例 (輕快一例)

其他ノ疾患

2	「ラツバ」管炎後ノ腹部疼痛	二例	(輕快一例、無效一例)
3	夜尿症	二例	(治愈一例、輕快一例)
4	膀胱加答兒	二例	(輕快二例)
5	淋毒性副辜丸炎	二例	(輕快二例)
6	尿道淋	一六例	(治愈七例、輕快九例)
1	甲狀腺腫	一例	(不明一例)
2	右半身不體症	三例	(輕快二例、無效一例)
3	衰弱後ノ步行不能	一例	(治愈一例)
4	衰弱後ノ步行困難	一例	(輕快一例)
總計		二百八十一例	

右表ヲ通覽スルニ「ヂァテルミー」ヲ應用セシ疾病ハ神經系統ニ多ク殊ニ脚氣ニ對シテハ一層ノ研究ヲ爲セリ泌尿器科殊ニ尿道淋ニ關シテハ著效ヲ示セリ勿論以上ノ疾患ニ對シテハ對症の藥物療法ヲ行ヒ傍ラ「ヂァテルミー」ヲ應用セシモノアレドモ又單ニ「ヂァテルミー」ノミヲ應用セシモノアリ。

次ニ其治療成績ヲ總括スレバ左ノ如シ。

(一) 神經系統ノ疾患 就中疼痛ヲ主症候トセルモノニハ殆ド凡テ輕快セリ數年來ノ慢性症狀ヲ呈セル患者ニハ一時の輕快ヲ與フルニ過ギザルモノ多カリシガコレモ引續キ永ク應用セバ必ズ奏效顯著ナリ。坐骨神經痛ノ一例ノ如キ二百八十四回迄ニテ全快セリ、同患者ハ「ヂァテルミー」ヲ應用スル以前ニ藥劑療法、注射療法、感傳電氣療法、「マッサーヂ」療法、溫泉療法等凡テ良效アリト聞キシモノハ皆應用セシモ病症ハ年ト共ニ増惡セルモノナルガ「ヂァテルミー」ヲ應用シテヨリ嘗テ見ザル快感ヲ覺エ患者ヨリ進ンデ治療ヲ希ヒ忍耐シテ連日應用シ遂ニ二百八十四回ニ及

ビ歩行ニモ耐ヘザリシ神經痛ハ全快セリ。上膊神經痛ニ於テモ若年者ノ急性症ニ對シテハ奏效確實ナリ慢性症ニハ永ク應用シテ治癒セシ例ト四五回目ニハ著シク疼痛減ジ上膊ノ運動モ著シク制限ナレズ殆ド自由ニナリタルモノガ其後如何ニ應用スルモ著變ナク再ビ以前ノ病症ニ復シタルモノアリ又一回十分間應用シテ疼痛却ソテ増シ翌日尙ホ一回應用シテ益々増惡シ遂ニ中止セシモノアリ。

外傷性神經痛。肋間神經痛ハ最モ適應セル疾患ナリ他ノ文獻ニヨルモ皆奏效著明ナリト云ヘリ。

(二)關節及ビ筋肉ノ疾患 主トシテ「ロイマチス」性ノモノニ應用セシガコレモ神經痛ト同ジク疼痛ハ凡テ輕快セルモ全ク治癒セシメ得ルニハ長ク應用セザルベカラズ。關節炎ノ内ニテモ膝關節炎ハ奏效常ニ確實ナリ又數十年來ノ關節「ロイマチス」ニ於テ既ニ關節ニ畸形ヲ呈セルモノニハ餘程ノ忍耐ヲ要シ數百回應用セザレバ效果ナカルベシ、二三回ノ操作ニヨリ疼痛多少消散シ腫脹モ亦十數回ニテ縮小スルモ其後數十回ニテハ少クモ著變ナク中止スルニ至ルベシ又結核性ノ關節炎(陳舊性)ニハ余ノ有スル二例ニ於テハ全ク奏效セズ。次ニ多ク患者ノ訴フル所ノ筋痛即チ肩癆ニ對シテハ見ルベキ效果アリテ一回ニテ既ニ治癒セル例少ナカラズ其殆ド凡テハ輕快ス然ルニ同一症狀ヲ訴ヘ居ル患者ニモカ、ハラズ治癒セザルモノアリコレ等ハ他ニ原因的疾患ノアルモノニ因ルナラン。

(三)脚氣 其多發性神經炎症狀ヲ呈セルモノ及ビ腓腸筋痛ヲ訴フルモノニ偉效アルハ既ニ第一回報告ニ詳カナリ只「ヂャテルミー」ハ其特殊ノ電流ノ作用ニヨリテ細胞ヲ「マッサーチ」スルモノニシテ。シカモ透温ハ深部ニ迄達シ得ルガ故ニ所謂「マッサーチ」療法ニ勝ル事數等ナリ余ハ脚氣ノ歩行不能ナルモノ及ビ腓腸筋ノ壓痛甚ダシキモノニ對シテハ實ニ確實ナル一治療法タル事ヲ斷言スルモノナリ。

尙ホ大工場(紡績所等)ニ附屬セル病院ニ於テ屢々見ル所ノ職業病トモ云フベキ女工ノ足痛ニ對シテ「ヂャテルミー」ノ有效ナル事ヲ知レリ足痛トハ跟骨痛ニシテ長時間起立セル時ニノミ痛ミヲ發シ休息時ニ痛ミナク歩行時増惡セズ腫脹モ認め得ザルモノナリ(中ニハ多少腫脹セルモノモアリ)而シテカ、ル患者ハ工場ニ勤務シテ日尙ホ淺キモノニ

多ク日月ヲ經ルニ從ヒ疼痛去ルモノナリ但シ其間患者ハ疼痛ノ爲メ休業ノ止ムヲ得ザルモノ多シ。「ヂャテルミー」ヲ應用スル事一回ニシテ疼痛全ク止ム。サレド半日以上續カズシテ翌日ハ再ビ疼痛ヲ發ス。翌日復タ應用セバ奏效シ止痛時間前日ヨリモ長ク再ビ疼痛ヲ發スルモ前日ノ如クナラズ。カクテ自然治愈ノ期日ヨリモ著シク短縮サレ治療サルナリコ、ニ於テモ「ヂャテルミー」ノ效力又没スベカラズ。

(四) 呼吸器系疾患 慢性氣管枝加答兒ノ患者ニ應用スレバ咳嗽著シク減ジ粘稠ニシテ喀出困難ナル痰ハ容易ニ喀出サレ、呼吸困難コレニ伴フ時ハ著シク輕快ス但シ年餘ニ及ベル重症ナルモノニハ其應用中ノミ效果アリ時ヲ經バ以前ノ状態ニ復歸スルモノ、如シ。百日咳ノ患者ニコレヲ應用スルニハ種々ノ忍耐ヲ要スベク又回数ハ少クモ數十回ナラザルベカラズ烈シキ咳嗽ノ發作ハ一日ト輕快スベク咳嗽刺戟ニヨル嘔吐等ハ二三回ニテ止ム、但シ百日咳ガ「ヂャテルミー」ニヨリテノミ永久ニ治愈スベシトハ考ヘラレザルモ患者ハ一回應用セシ日ヨリ著シク咳嗽數減ジ氣分爽快ニシテ能ク笑顔ヲ呈セリ。コレト殆ド同ジ状態ニアルモノハ氣管枝喘息ナリ烈シキ氣管枝ノ痙攣。痙攣性吸氣。高度ノ呼吸困難等ハ確カニ輕快ス而シテ患者ハ樂々ト平易ニ呼吸ン得ザレド本病ノ凡テニカク奏效ヲ見ル能ハザルベシ。僅ニ四回應用セシニ偉效ヲ奏シ發作全ク止ミシ、二例ヲ有スルモコレハムシロ稀有ニ屬ス多クハ著シク輕快スルノミニテ治愈ハ困難ナラン、サレドカ、ル治療困難ナル疾患ニ對シテハ殆ド總テ治愈シ得ベキ「ヂャテルミー」療法ヲ應用スル事モ亦醫師ノ務メナラム、次ニ乾性肋膜炎ノ胸痛ニ對シテハ殆ド總テ治愈シ咳嗽減ス濕性肋膜炎殊ニ其漿液性又纖維索性ノモノニ應用セバ其浸出液ノ吸收機轉ヲ早メ患者ノ自覺症狀ハ甚ダ佳良トナル併シコレニハ電導子ノ使用法ヲ大ニ考ヘザルベカラズ鉛板ノ扁平ナラザルモノ及ビ電導子間ヲ流ル、電流ガ鉛板ノ外縁間ヲ流レザル様ニシ患側ニ小電導子ヲ健側ニ大電導子ヲ必ず平行ニ當ソベン。

(五) 消化器系疾患 腹痛ソレハ胃加答兒、胃擴張、神經性胃痛等ニ來ルモノナラザルベカラズ、胃潰瘍ニハ禁忌ナリ輕度ナル胃痛ニ對シテハ何等ノ藥品ヲ用ヒズシテ一回ノ應用ニテ止痛シ得ヘン。余ノ胃腸加答兒ト云フハ慢性ノ

モノニシテ腹部膨滿壓重ノ感腹部ノ不快感食思減却便秘及ビ下痢等ノ諸症狀ヲ呈スルモノ、意ニシテコレ等ニ應用セバ著シク輕快ヲ覺ユ、便秘セルハ快通シ下利セルハ多少秘結ノ效アリ殊ニ興味アルハ腹膜炎後ノ腹部膨滿抵抗感及ビ硬結ナリコレニ「ヂァテルミー」ヲ應用スレバ著シキ效果アリ先ヅ腹部抵抗感去リ膨滿ノ感去リ遂ニ腹部ノ硬結全ク去ルベシ而シテ患者ニ腹膜炎ノ既往ヲ忘レシメ著シク爽快ナラシム。

(六) 泌尿生殖器ノ疾患 コレニ就テハ多クヲ語ラザルベシ只陰萎症、夜尿症ニハ一度試ムベシ害ナケレバナリ時ニ奇功ヲ奏スルヲ忘ルベカラズ。尿道炎ニ對シテハ尙ホ専門家ノ最モ苦心セル所ナリ「ヂァテルミー」ノ生理的作用ハ理論上理想的ノ方法ニシテコレコソ眞ニ根治療法ナラムト考ヘラルモ陰莖ノ解剖的關係ヨリシテ電導子ノ貼用至難ナルト理想的ノ導子ヲ得ザル爲メ其治療成績區々タリ然レ共現今用ヒラル陰莖導子ハ稍々良品ニシテコレニ由ル治療成績ハ著大ナリ尙ホ治療例少ク治療セリト考ヘラル患者、二三ニ止マラザルモ治療後日尙ホ淺ク再發セズト斷言シ得ザルヲ以テ他日尙ホ研究シ報告スル所アルベシ。

### 結 論

要スルニ「ヂァテルミー」ハ其本來ノ性質ヲ知り適應セル疾患ヲ選ビコレニ應用スル時ハ以上ノ如キ效果ヲ奏スルモノナリサレバ内科醫トシテ種々ノ治療法ヲ行フ傍ラ「ヂァテルミー」ヲ併用スル時ハ其效果尙ホ一層顯著ナルモノアラシ、サレド此高價ニシテ複雑ナル器械ヲ運轉シテ治療ヲ行ハンニハ多少ノ熟練ヲ要ス然ルニ余ノ淺學ヲ顧ズ之ガ應用ヲ試ミ敢テ報告セル所以ノモノハ此療法ノ未ダ一般ニ用ヒラザルヲ惜ミ「ヂァテルミー」療法ヲ高叫シテ以テ諸賢ノ高教ヲ仰ガント欲スルモノナリ。

攔筆スルニアタリ院長遠藤先生ノ御校閲ヲ賜ハリシニ謝意ヲ表ス。

(大正八年五月一日)